

ほけんだより 3月号

令和4年2月28日
椋山女学園大学附属
椋山こども園

3月になり、少しずつ寒さも和らいできましたが、1日の中でも寒暖差があり衣類などの工夫が必要な季節です。今年度も後1カ月ですが、新型コロナウイルス感染症の新たな変異ウイルスが出てきたりと、不安な日々が続いています。今後とも、園とご家庭と協力して乗り切っていきましょう。

かぜからくるせきの病気

かぜは幼いほど重症化しやすいもの。かぜをひいた後、せきが続くことがあれば、のどの炎症が気管支や細気管支にまで進んでいるのかもしれない。



こんな症状

気管支炎

- 38℃以上の発熱
- 「ゴホゴホ」というたんが絡んだせき
- 日中も、睡眠時でもせきが止まらない
- 2歳以下は、呼吸困難を起こすことも

細気管支炎

- 熱はあまりないが、出ても微熱程度
- 次第にせきとたんが増える
- 息をすると「ヒューヒュー」「ゼーゼー」という音がする

せきがひどいときは…

- 上体を起こすとたんが切れて、呼吸しやすくなります。
- 0、1、2歳の子は、縦抱きで背中を軽くたたいてあげましょう。
- 部屋の加湿と水分補給を。湿度は50～60%くらいが目安です。



3月3日

耳の日

耳をのぞいてみましょう

子どもの耳を観察してみてください。びっくりするほど耳あかが詰まっていることがあります。あまりすぎていると聞こえが悪くなったり、プールに入ると水でふやけて鼓膜を圧迫したり、ときには菌が繁殖して、外耳炎を起こすこともあります。

耳あかが見えていても取りづらいたときは、無理をせず耳鼻科を受診しましょう



内科健診のお知らせ

3月10日(木) 14時～

対象者：ひよこ、りす、うさぎ、こあら、きりん組

日頃気づきにくい病気を早く発見したり、成長を知ったりすることは、子どもの健康を守るためにもとても大切です。医師に聞いておきたいことなどがあればお知らせください。また、当日はできるだけお休みがないようお願いいたします。

